Solo Piano COLLECTION

⊙ピアノならではの音色と音域の鳴りを考えながらプレイしよう

イン・ジーズ・アームズ

デヴィッド・ブライアン

Words and Music by Jon Bon Jovi, Richie Sambora, David Bryan

「オン・ア・フル・ムーン…」
デヴッド・ブライアン
PH PHCR-1301

採譜／解説●石川芳

譜面は真っ黒で脅迫的な感じさえしますね。でも実際は，そんなでもないんです。……というかまぁ，あれこれ考えずにとにかく弾いてみては？

同じことの繰り返しなんだけれど，装飾音とかほんのわずかなリズムの刻みの違いが，曲全体を「飽きさせない」ようにしているんですね。

16分音符で絶えず動き続けるというのが，譜面を難しそうに見せてしまっている原因なんですけれど，これって偶然の連続でしょ？　「思い付いたまんまの弾きまくり」を，これまた意地悪なくらいに「こだわり」を見せて採譜しちゃったもんね。だから，譜読みは骨組みさえしっかり押さえれば，そんなに神経質になる必要はないと思うよ。

右手のトップがたいていの場合メロディになっているから，メロディを目立つように弾くのは言うまでもないんだけど，この音域の広さの意味も考えたいね。ベースがドーンと低く鳴ると雰囲気が引き締まっていいでしょ？　でも，むやみにペダルを踏み続けていると濁っちゃう。Dや Eの後半なんかは，ピアノならではのとっておきのサウンドだし，そういった音域ごとのピアノの鳴りを，しっかり理解して奏法を研究してください。

左手がオクターブの中で分散的に動く箇所が多いので最低音に狙いを定めて，手は絶えずパー状態(クニャクニャにせぇなんて言っていないッ！)にしておくと弾きやすいです。オルゴールが静かに止まるみたいに終わってね。　(芳姫)

9
C♯m
A
A(onB)B
11
B
E
12
A△7(onE)
E
A(onE)
15
E
A(onE)
E
loco
8va bassa
l.h.
18
A△7
C♯m
A
B
loco
cresc.
8va bassa
21
C
E
B
C♯m
A
E
C♯m
f
loco
8va bassa
24
B
A
E
B

26 C♯m A E C♯m

28 B A E F♯m7 E(onG♯)

8va bassa

42
C♯m
A
E
C♯m
B
A
3
45
E
B
C♯m
A
E
E(onG♯)
48
B
A
49
G
E
A(onE)
mf
51
E
A9(onE)
E
8va bassa
dim.
8va
p
54
AΔ7
E
A(onE)
sempre
poco
a
poco
rit.
57
C♯m
A
B
E
15va
molto rit.
6
7